

平成28年 NO. 4

コミュニティ・スクールだより

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

H29.1.20

(事務局：国見町教育委員会学校教育課 ☎585-2892)

新年を迎え、国見町の子どもたちの更なる成長と幸せを願い、コミュニティ・スクールの機能を一層充実させなければと思っております。

コミュニティ・スクール委員会としましても国見学園を土台とした保幼小中一貫教育を実のあるものとするため各所園学校の保育・教育活動の充実のため一体となって経営に参画して行かなければならないと考えております。

今年も、保護者・地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

第4回国見学園コミュニティ・スクール委員会報告

12月14日(水) くにみ幼稚園

国見学園の特色(幼稚園から英語活動)

保育参観では楽しく自由遊びをする子どもたち、そして生き生きと英語活動を行う年長園児の様子を見ることができました。



先生に合わせてポーズ

くにみ幼稚園では、担任の先生、英語講師の先生が英語活動の指導を行っています。

年長は年間24回、年中は12回実施しており、歌ったり踊ったり会話したり、自然に英語に慣れ親し



色カードを取り合う子どもたち

んでいます。当日は地域から4名の参観希望があり、子どもたちの幼稚園生活を見ていただきました。

熟議テーマ「読書の習慣化を図るための手立て」です。

読書は文字や文章に親しみ、想像したり楽しんだりする豊かな心を育て、言葉を増やし表現する力や読み取る力、筋道立てて考える力等を育てます。読書は読書そのものが楽しみであるだけでなく、コミュニケーションを広げ、より人生を良く生きる上に必須なものであると言えます。

1 くにみ幼稚園の取り組みについて(佐藤園長先生、図書担当の松田先生より)

読書の習慣化を図るために以下の取り組みをしている。

①読み聞かせ

毎日、学級ごとに、帰りの会で10分程度担任や副担任が行っている。

②家読

毎月4・5・6のつく3日間のうち1回は10分以上各家庭での実施を呼びかけている。家読の記録（アクションカード）の提出割合は半数を超える程度であり、本の紹介や本の貸し出しを継続して家読の割合を高めて行きたい。

これまでの取り組みにより子どもたちは話の聞き方が良くなり、集中力も高まったように思う。家読は家庭の親子ふれあいの時間となっている。



2 協議内容（各班からの発表をまとめました）

- ① 家読の記録であるアクションカードの提出率50%は評価してよい。幼稚園での読み聞かせや町として家読の日を設定して取り組んでいることの成果だと思う。

読書の習慣化のためには町全体での取り組みを継続することが必要だ。例えばパンフレットを再度配布し呼びかけること等をしたい。

- ② 読み聞かせや家読の成果が子どもたちの話を聞く態度やけじめある行動につながっている。3ヶ月検診から保育所や幼稚園での小さい頃からの積み重ね等の成果が子どもたちの言動に表れていくよう思う。

- ③ 親たちが読書をしていない傾向がある。家庭の中に本のコーナーを設ける等家庭での読書環境づくりが大事である。

- ④ 親は忙しくて子どもと一緒に読めない状況がある。家読の有無に読んだかどうかに関わらず、アクションカードを提出してもらうことが今後の習慣化に結びつくと思う。

また、4日5日6日に読めない時もあると思う。学校や学年によって目標を決め、家読を定着させることも考えて良いのではないか。何冊借りたか、何冊読んだかをカードに記録させることも方法の一つだ。親の意識を変えるためにも本を借りたかどうかを確認することも良い。

- ⑤ テレビやゲームに流れる家庭が多い実態がある。スマホやゲーム等をどう使うかの指導は避けて通れない。家読と関わらせ、けじめ有る保護者の関わりが求められる。

- ⑥ 家読フォーラムを開いて、家読の取り組みに関する保護者同士の情報交換の場を設けてはどうか。他の先進的に行っている地域からも学ぶ機会となればよい。

- ⑦ 国見町は保幼小中の連携がとりやすい町である。これからも連携を深め、各学校で子どもを変えていく教育をしなければならない。

【教育長あいさつ】

教育行政で力を入れているのはコミュニティ・スクールを母体とした保幼小中一貫の取り組み、特に読書です。学力を向上させるための読書というねらいではなく、読書により豊かな心を育てることを大事にしたい。

今の時代は読書をするのが難しい時代になっている。我々大人が子どもに読書に取り組んでもらうためにいろいろと工夫をしなければならない。親の世代も同様で、時間がなくて読書に取り組めない状況があります。何らかの働きかけがあれば、親も子どもと一緒に読書ができるのではないかと、そしてたどりついたのが「家読」を町ぐるみで育てようということでした。

家読が実施できれば、家庭の中でコミュニケーションを取る時間ができるということです。良い意味で充実させていきたい。これからもよろしくお願いします。